

## 他自治体のまちづくりの事例

令和4年10月

事例1 子育て支援策の事例：兵庫県明石市 **(赤字：飯山市の取組み)**

## ○明石市の概要

兵庫県中南部の阪神都市圏と播磨都市圏が接し、海を隔てて淡路島を望む位置にあります。市の東と北は神戸市と、西は加古川市や播磨町、稲美町と接しており、南は瀬戸内海に面しています。

市域面積は49.42 km<sup>2</sup>、南北は最長9.4 km、東西は最長15.6 km、最高地の標高は94.6mであり、東西に細長く平坦なまちを形成しています。気候は、年間を通じて降雨が少なく温暖です。

## ○令和2年国勢調査人口：303,601人

※内訳 0～14歳：41,159人(13.6%)、15～64歳：180,779人(59.5%)、  
65歳以上：81,663人(26.9%)

## ○子育て支援策：明石独自の5つの無料化

明石市が進める「こどもを核としたまちづくり」の中心を担うのが、子育て支援の5つの無料化。子育てにかかる経済的な負担の軽減は、人口増加につながっています。

親の所得に関わらず、すべての子どもたちにサービスを届けるため、所得制限はありません。

## ①こども医療費の無料化

子どもが病院に行ったときに払うお金は、住んでいるまちによって異なります。明石市では2021年7月からさらに制度を拡充し、全国の中核市以上の市ではじめて、高校3年生まで無料になりました。**(飯山市→福祉医療費の給付対象を18歳まで拡充。1レセプト当たり500円の負担あり。)**

## ②第2子以降の保育料の完全無料化

保育所・幼稚園・市外の施設でも可、兄弟姉妹の年齢も関係なく、親の収入も関係なく適用されます。**(飯山市→第3子以降の保育料無料化(令和元年10月からは国の制度により「3歳以上保育料無償」)に加えて、満1歳からの保育、保育時間の延長、土曜一日保育・休日保育、副食費の無料化を実施。)**

## ③0歳児の見守り訪問「おむつ定期便」

市の研修を受けた配達員が、毎月おむつや子育て用品をご自宅にお届け。その際、育児の不安や悩みを聴いたり、役立つ情報をお伝えします。

対象…令和2年4月以降に生まれる子どもで、生後3か月から満1歳の誕生日まで

お届け品…紙おむつや粉ミルクなどの子育て用品(約3,000円相当の品)

**(飯山市→新生児に対する出産特別給付金10万円の給付や聴覚検査への支援を実施)**

## ④中学校の給食費が無償

子どもたちに心のこもったあたたかい給食をお届けしている「中学校給食」が所得制限なしで無償になります。教育費が膨らむ中学生のいる家庭の負担を軽減し、子どもの健やかな成長を支えます。(飯山市→経済的な理由により就学が困難な学齢児童・生徒の保護者に対し、学用品費や給食費の一部を援助する制度あり)

## ⑤公共施設の入場料無料化

- ・親子交流スペース「ハレハレ」：市内在住小学生以下の子どもと保護者は利用料無料
  - ・文化博物館：市内外問わず中校生以下は観覧料無料
  - ・天文科学館：市内外問わず高校生以下は観覧料無料
  - ・明石海浜プール：市内在住・在学の小学生以下は利用料無料
- (飯山市→ふるさと館、美術館：市内小中学生は入館無料)

## ○その他の取組

- ・使用済み紙おむつの保護者持ち帰りの廃止（令和4年4月スタート）  
保育施設等での使用済み紙おむつの保護者持ち帰りについて、保護者や保育士等の負担軽減や衛生面への配慮のため廃止し、施設が自園で処理を行うようにしました。施設には市から補助を行うことで、おむつ処理に係る保護者の実費負担をなくしています。(飯山市→なし)
- ・市内全公立幼稚園で給食を実施（令和2年9月～）  
市内27校区の幼稚園で給食が始まり、市民ならおかず代（副食費）は無料で、月額400円から利用できます。(飯山市→副食費は無料)
- ・こども食堂（全28小学校区46か所）(飯山市→1か所 ※飯山市公民館)
- ・少人数学級（小学1年生は1クラス30人以下、中学1年生は1クラス35人以下）(飯山市→県の学級編成基準による「1学級35人」としている)
- ・病児保育施設（病気の子どもの預かる施設が市内2か所）(飯山市→なし ※病後児保育は子ども館きららで実施)



資料：明石市HP

## 事例2 バリアフリー観光の事例：三重県伊勢・志摩

### ○伊勢・志摩の概要

観光面での「伊勢・志摩」は、三重県にある伊勢神宮と志摩半島の二大観光地とその周辺を指します。名古屋から鉄道で2時間前後、有料道路で124 km、大阪からは鉄道で2時間半程度、有料道路で168 kmの距離にあります。自治体でいえば概ね、伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、南伊勢町を含む地域となります（令和2年国勢調査による総人口の合計は220,224人）。

伊勢神宮は、内宮と外宮の両正宮を中心に、14の別宮戸109の摂社・末社・所管社から成り立っている、125社の総称であり、宮域は約5,500haと、伊勢市の約4分の1を占めています。両正宮の参道（外宮参道、内宮参道（おはらい町、おかげ横丁））には数多くのお土産物店や飲食店が並んでいます。

志摩半島では、英虞湾（あごわん）が有するリアス式海岸をはじめとする自然のほか、伊勢えび、かき、あわび等といった海の幸、ミキモト真珠島、鳥羽水族館、志摩スペイン村等数多くの観光資源を有しています。

### ○バリアフリー観光の取組

伊勢志摩バリアフリーツアーセンターは、「伊勢志摩に遊びに行きたい！」という障がい者や高齢者の旅行者に、伊勢志摩の観光施設や宿泊施設などのバリアフリー観光情報を発信している NPO 法人です。平成14年、三重県の事業「伊勢志摩再生プロジェクト」から活動が始まり、地元の障害者との会議、バリアフリー調査、情報発信を行うなどしました。その後は、主に以下のような取組を進めてきました。

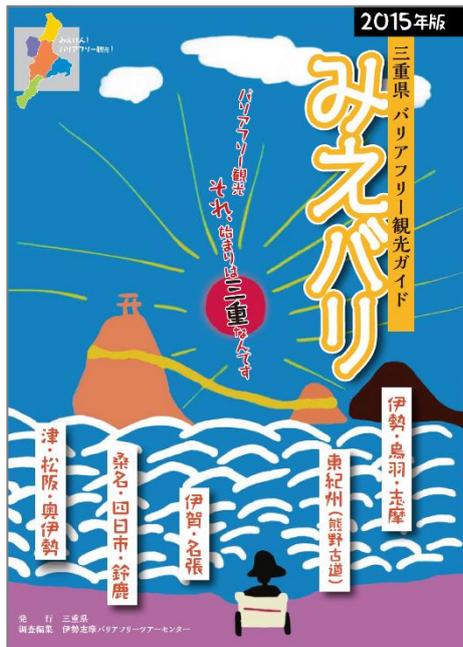
- ・ 乗り捨てOKの車椅子レンタル どこでもチェアサービス
- ・ 鳥羽市から鳥羽観光ホームページ作成を受託し、市内のバリアフリー情報を調査・発信
- ・ 三重県立鳥羽高等学校「観光とバリアフリー」授業の講師
- ・ 海でもっと障がい者たちに遊んでもらえるような体制づくり（水陸両用車いす購入等）
- ・ 鳥羽駅でのボランティアガイド

### ○「日本一バリアフリー観光県」推進宣言

三重県では、平成25年6月、知事が、日本一のバリアフリー観光推進県を目指す「日本一バリアフリー観光県」推進宣言を行いました。そして、平成27年3月には、ホスピタリティに満ちた三重の観光を磨き上げるため、三重県バリアフリー観光ガイド「みえバリ」を発行しました。

この「みえバリ」は、施設の一般的なバリアフリー情報だけでなく、障がい者、高齢者、妊婦、杖やベビーカーの利用者など移動に困難を伴う方々が、行きたいところ、楽しみたいことを実現できるよう、「パーソナルバリアフリー基準」(\*)で施設を調査し、バリアを乗り越えてでも行きたい観光スポットの魅力に重点をおいて紹介しています。また、取材をした地元障がい者の生の声も掲載する、使えるバリアフリー情報誌としました。

※パーソナルバリアフリー基準：身体に障がいのある方や、高齢によって身体が不自由な方をはじめとする、さまざまな方に旅行を楽しんでいただけるように開発した基準。基準の基本は、(1)障がい者視点の調査により、観光施設などのバリアを明らかにする、(2)常設の相談センターにおいて、利用者からの相談を受ける。



▲冊子「みえバリ」 <https://www.pref.mie.lg.jp/D1KANKO/89769000001.htm>

※冊子「みえバリ」の記載内容の例（伊勢神宮・内宮について一部抜粋）

- ・内宮は、宇治橋からご正宮まで玉砂利の参道が約800m続き、往復1.6kmの距離を歩く。距離も長く、一般車いすでは玉砂利が前輪にひっかかるため、宇治橋手前右手の衛士見張所で、砂利道でも走行しやすいタイヤの太い介助式電動車いす（一部手動タイプ）を借りるとよい。
- ・神域内はペット禁止だが、盲導犬・介助犬など補助犬はOK。補助犬連れの場合は、入口の衛士見張所に声をかけておこう。
- ・ご正宮には25段の階段がある。1段の高さは18cmほどと低めなので、自力で階段の上り下りができる方は、両端の石垣を手すり代わりにしてゆっくり上がろう。無理をせず階段下で逡巡しても、神様に届く思いは変わらない。
- ・視覚障がいの方は、宇治橋の欄干や鳥居に触れて大きさを体感したり、五十鈴川のせせらぎや玉砂利を踏みしめるザクザクという音を感じてほしい。



▲二見（ふたみ）シーパラダイス ▲夫婦岩 ※いずれも冊子「みえバリ」より

資料：伊勢志摩観光コンベンション機構HP、NPO法人NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンターHP、三重県HP